

砂丘の魅力伝えたい

⑯ 砂丘保安官

『砂丘保安官』 つてなあに

鳥取砂丘県営駐車場内にある、砂丘についての情報や観光客の憩いの場として利用されている施設「パークインフォメーション」に『砂丘保安官事務所』と書かれた看板が設置されている。

この事務所を訪ねると、



砂丘について解説をする田中さん

胸にはバッチを、腕には腕章を付けた事務所長（田中寅夫さん・七十六歳・吉方温泉二丁目）が、風速計を片手に笑顔で出迎えてくれた。

「私が、砂丘保安官の田中です。私たちは、砂丘の魅力のみなさんにお伝えするのが任務です。」と胸を張る田中さん。

『砂丘保安官』は、砂丘に生息する動植物や砂丘が作り出すさまざまな自然現象など、普段知ることのできない情報を無料でガイド・解説をしてくれる。また、小学生を対象に砂丘学校の開校、砂丘の美化・保全活動、ガイドブックの作成などさまざまな活動を行っている。

『砂丘保安官』の誕生

「幼いころ、陸軍の歩兵連隊の訓練場だった砂丘に銃

弾を拾いによく来ていましたねえ。いつの間にか魅力を感じて砂丘が大好きになっていました。砂丘についていろいろと勉強しましたよ」と懐かしそうに昔を振り返る。

「最近では、鳥取砂丘を訪れる観光客が年々減る一方で…。観光客に対するもてなしが足りないと感じました。そこで鳥取砂丘の魅力を観光客のみなさんに伝え、もてなしたいと思い、砂丘を案内するボランティアガイドの結成に取り組んだのです」ときっかけを語る。

『砂丘保安官』は砂丘を愛する人たちが集まり昨年四月に誕生。メンバーは現在四十人で、学校の先生、主婦、会社の社長さんなどいろいろな人が活躍している。

『砂丘保安官』の使命

「風紋や砂廉（砂粒が砂丘の急斜面を滑り落ちてすだれのような形になったもの）など、実に美しい神秘的な世界を創り出す鳥取砂丘は、



風紋は、風の向きや強さでさまざまな表情を見せる

二十万年〜三百万年もの長い年月をかけてできた大切な鳥取の宝です。次の時代を担う子どもたちにこの宝のすばらしさを伝え、私たちの後継者を作ることが使命だと思っています」と田中さんは砂丘を見つめた。

田中さんの、訪れる観光客へのもてなしの心と、鳥取砂丘を永遠に守り続けたいと願う思いに砂丘保安官魂を感じた。

今日も砂丘保安官は、風速計を片手に風と砂が織りなす日本一美しい鳥取砂丘の魅力伝えていく。